

団地自治会ニュース

ライフスタイルを生み出していった。団地における生活の実情や住民の活動を記録した資料として、横浜市史資料室では団地自治会の資料を所蔵している。なかでも、各団地の自治会が発行した広報・ニュース類は、身近な生活の課題を示し、住民がそれにどう取り組んだかを具体的に伝えてくれる。これらの資料は『横浜市史Ⅱ』編集時に調査・収集したもので、その経緯については、『市史研究 よこはま』第一二号（横浜市史編集室、二〇〇〇年）で報告している。また、『横浜市史Ⅱ』第三巻下（横浜市、二〇〇三年）の「市民生活」では、これらの資料を使って団地生活の一端を示し、その歴史的意味を論じている。

各団地の自治会は、毎年総会を開き、定期的に広報のために会報やニュースを発行していた。しかし、総会の記録や会報・ニュースを体系的に保存している自治会は少ない。現在市史資料室では、日吉団地・左近山団地・公田町団地・仏向町団地・西寺尾団地のニュース・会報あるいは総会資料の複数が生まれていった。

地のなかで、様々な環境整備や生活上の課題の解決に取り組み、その主体となつたのが、各団地で結成された自治会組織であつた。そして、コーラスなどの趣味のサークル、子ども会などの活動、盆踊りなどの定期的な行事の定着、そして団地牛乳や生協など、自治会を中心に様々なコミュニティーと活動が生まれていった。

新しいミニミニティ

ここでは、市史資料室が所蔵している団地自治会資料の概略を述べ、その内容の一部を紹介したい。

生活や課題の出発点としても、高度経済成長期の団地生活を振り返ることには意味があるであろう。

現在では、かつての典型的な団地に代わってニュータウンやマンションが、集合住宅の典型となっている。また、団地も建て替え問題や高齢化など新たな課題を抱えている。こうした現在の

現在では、かつての典型的な団地に

団地生活
原則自由参加である自治会は、まず自治会への参加を募るところから始めねばならなかつた。そのため、団地の生活においてどのような課題があるかを提起し、また住民相互の親睦のために様々な企画をたて、自治会とその活動の意義を訴えた。

团地生活

頃の資料を見ると、多くが手書き原稿のガリ版刷りであった。それが次第にタイプ原稿の謄写版刷りに推移していく。字数が増加して、内容も当然豊富になつていった。しかし、初期のガリ版刷りのニュース類は、手書きならではの勢いを感じさせる。

資料室が引き継いでいる。たゞ、こぢらも断片的である。いずれも、複製あるいは原本で閲覧することができる。

『汐見台ニユース』は一九六五（昭和四〇）年の創刊から二〇〇七（平成一九）年までそろっているが、その他は一定期間のみで欠号も多い。なお、かつて横浜市広報センターが収集していたミニ・コミの中に団地自治会のニュース類も含まれており、現在市史

高舟台団地・上郷団地のニュースも所蔵している。また、『汐見台ニュース』という汐見台団地の住民が中心となつて編集している地域新聞もある。

製を部分的に所蔵しているのみである

決方法の一つとして自主的に団地市場を開設したり、生協に加入したりした。そして、物価問題など本格的な消費者運動に取り組む自治会も現れてくる。もともと郊外を開発して建設された団地では、最寄り駅までの距離が遠かつた。そのため、駅までのバスなど交通機関の問題は多くの団地が共有し

實に供給を確保しようとしたのである。その方法は、団地によつて様々であつたが、後の生協の活動などにもつながる消費者活動の一つであつた。

品であった牛乳をなるべく安く購入したいということから始まつた。自治会などが中心となつて業者と交渉して、共同購入し、場合によつては団地内の

き　その活動の重要性も増していくた
また、育ち盛りの子どもたちを抱え
る団地住民に特徴的な活動として、団
地牛乳があげられる。これは、子ども
の栄養のために毎日欠かせない必需

たとえ入居五年後の一九六二年に自治会が結成された日吉団地では、様々な住宅補修が課題としてあがつてい
る。雨戸の改修のほか防水・塗装、団地内道路の舗装や街灯設置など、住宅設備および環境の整備は、自治会活動の主要な課題であった。そしてその課題は、時と共にますます多様化してい



公田町団地自治会報『くでん』第2号 1965(昭和40)年8月25日 牛乳の共同飲用に関する記事が第1面トップを占める。 公田町団地自治会所蔵



十日市場団地のテラスハウス 1961(昭和36)年9月6日
初期の団地にはこのような2階建てのテラスハウスも多かった。
広報課写真資料



日吉団地自治会『自治会ニュースNo3』1962(昭和37)年3月 子ども会、雨戸、道路舗装、コーラス部が取り上げられている。サンヴァリエ日吉自治会所蔵



上飯田団地牛乳センター 年不詳 団地内に設けられた上飯田団地自治会運営の牛乳センター。詳細は不明だが、ここを拠点に牛乳の共同購入、販売、配達が行われたのだろう。

相談がある場合には、ぜひ当横浜市史資料室にご一報いただきたい。

(羽田博昭)

このように、初期の団地は生活に密着した身近な課題を抱え、各自治会はその課題に取り組むことで、今につながる様々な市民活動を生み出していく。その実態をあらためて知るためにも、団地自治会資料の存在は貴重であり、現在残されている資料がこれ以上散逸することなく、保存されることを望みたい。

料金値上げ、バスの増便などが課題となつた。他方、自家用車の増加と共に、団地内の路上駐車など駐車場問題が浮上していく。また、バス道路の舗装、バス料金値上げ、バスの増便などが課題となつた。他方、自家用車の増加と共に、団地内の路上駐車など駐車場問題が浮上していく。

ていた。バス道路の舗装、バス